2015 年 5 月 28 日

「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン」５．２７全国統一集会

5 月 27 日（水）、連合は「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン第３弾 5.27 全国統一集会」を東京・文京シビックホールで開催した。

この集会は、「労働者保護ルール改悪阻止」「政府による年金積立金運用見直しの危険性」を訴えるため行ってきた「全国統一行動」を結集したものである。会場に集まった 1,715 名に加え、インターネット中継でつながった全国の地方連合会、220 カ所の地域協議会の仲間とともに、働く者の連帯を確認した。

冒頭、古賀伸明会長が「安倍政権の強引な政治手法が明らかになってきた。歯止めのない安全保障法制と労働者保護ルールの改悪は、どちらもこのまま成立を許してしまえばこの国の将来に大きな影響を与える。連合は、生涯派遣で低賃金、長時間労働を助長し過労死を促進するような改悪を断じて容認することはでない。巨大与党の暴走を、働く者の団結で止めなければならない。まさにこれからが正念場。われわれ働く者の怒りを国会にぶつけていこう。」と挨拶した。

続いて、枝野幸男民主党幹事長が「安倍内閣は、安全保障法制をめぐる答弁でウソをついて国民をだましている。同時に労働者のためになると謳って労働者保護ルール改悪でもウソをついている。ウソつき政権の労働者保護ルール改悪法案を止めるため、民主党は連合の皆さんと強く連帯して共に闘う」と力強く訴えた。

ダイバーシティコンサルタント(内閣府少子化危機突破タスクフォース政策推進チームリーダー)の渥美由喜氏からは、「働きがいのある職場にこそ優秀な人材が集まる。働く人誰もが家庭人や地域人の役割も担っており、私たちの時間は会社のためだけにあるのではない。今闘わずしていつ闘うのか。連合の運動に心から連帯する。」と連帯の挨拶をいただいた。

さらに、各地で「全国統一行動」に取り組んできた各地方ブロック代表のショートメッセージが放映された後、永芳副会長、逢見副会長よりそれぞれ決意表明がされた。その後、4 月 13 日～5 月 8 日に募集し、全国から寄せられた「川柳・運動標語」約 2,000 作品から選ばれた最優秀作品を発表した。

最後に、神津事務局長の提案による「集会アピール(案)」が採択され、岡本会長代

行によるがんばろう三唱で集会を締めくくった。

　連合は、安倍政権の暴走にストップをかけるため、働く仲間の怒りを結集し、世論をまきおこしていく。

■発表された「川柳・運動標語」の最優秀作品

運動標語の部 若者の　未来を奪うな　ワークルール改悪（ろんちゃん）
　川柳の部　本名で　呼ぶ人も無し　派遣先（ねこまんま）

5.27 全国統一集会アピール（案）

われわれは、全国各地のメーデーにおいて、

一．労働者派遣法の改悪をしないこと。
一．実効ある長時間労働抑止策を導入すること。労働時間規制の緩和につながる労働基準法の改悪をしないこと。
一．公的年金制度の年金積立金の運用にあたって拠出者である労使の意思が確実に反映できるガバナンス体制を構築すること

を求め、その実現のため、本日まで「全国統一行動」を行ってきた。

しかし、政府が国会に提出している労働者派遣法改正法案は、「派遣労働は臨時的・一時的に限る」との原則を実質的に撤廃し、均等待遇原則の導入を先送りするものであり、“生涯派遣で低賃金”を増やす改悪法案である。政府は、現行法のままでは「大量の派遣労働者が失業」するなどといった全く根拠のないデマ文書を国会議員に配布し、与党は委員長の職権による強引な委員会の開催を行うなど、法案の成立に血眼になっている。若者たちから安定した雇用を奪うこの改悪法案の成立は断固阻止しなければならない。それが私たち世代の責任である。

また、新たな長時間労働を生み出すおそれのある「高度プロフェッショナル制度 」の導入や裁量労働制の拡大が盛り込まれた、労働基準法の改悪法案も国会に提出されている。労働時間規制に抜け穴をつくり、労働者をさらなる過重労働へと追い込む改悪法案は、絶対に認めることはできない。政府は、過労死という痛ましい出来事で毎年 100 人以上が亡くなっている現実を直視し、「労働時間の量的上限規制」や「勤務間インターバル規制」などの実効ある長時間労働抑止策を導入して、“残業代ゼロより過労死ゼロ”を実現すべきだ。

また、審議会で労使の委員が共同で要請した年金積立金管理運用独立行政法人（ＧＰＩＦ）のガバナンス改革に係る課題についても進展していない。その結果、被保険者の意思を反映できないまま、ＧＰＩＦでは、インフラ、不動産など運用対象の多様化が着々と進められてしまっている。労使をはじめとするステークホルダーの参画の下、合議制により意思決定する仕組みを早急に構築すべきである。

われわれは、怒っている。 政府は、働く者の声を聴け！ 全国の働く者が国会の審議を見ているぞ！数の力で法案を強引に押し通すことは絶対に許さない！

本日の意志結集を土台とし、今後は国会周辺での行動を通じ、全国で働く仲間の 怒りを国会にぶつけていく。すべての働く者の連帯で安倍政権の暴走にストップをかけよう。

2015 年 5 月 27 日

連合「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン第 3 弾

5.27 全国統一集会